

1. 科目名（単位数）	会計学入門（2 単位）		3. 科目番号	GELA1351
2. 授業担当教員	松尾 仁			
4. 授業形態	アクティブ・ラーニング（グループ・ディスカッションなどの双方 向対話型授業）		5. 開講学期	春期(王子) 秋期(池袋)
6. 履修条件・ 他科目との関係	経営学関連科目を履修していることが望ましい。			
7. 講義概要	企業の経営成績や財政状況を把握するためには財務諸表（貸借対照表、損益計算書など）を読み取る力が必 要不可欠である。そのため、会計情報を利用するステークホルダー（利害関係者）には、会計の仕組みや専 門用語の習得が求められる。そこで、本講義では、会計学の基礎的な理論や現状について考察する。財務諸 表を理解するために、会計の考え方や会計の基本的な構成要素である資産・負債・純資産（資本）・収益・費 用などを学習する。			
8. 学習目標	1. 会計に興味を持つことができる。 2. 会計的思考法を理解できるようになる。 3. 数字を根拠に経営を考えることができるようになる。			
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	授業内容と関連したレポートを課す。			
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 小澤義昭・山田伊知郎・中村恒彦『新版 まなびの入門会計学（第4版）』中央経済社、2024 年。			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 会計学の基礎的な事項を理解し説明できるか。 2. 会計的思考法で考えることができるか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、期末試験、レポート等を総合して評価する。 1. 授業への積極的参加 総合点の 30% 2. 課題レポート 総合点の 30% 3. 期末試験 総合点の 40%			
12. 受講生への メッセージ	主体的に授業に参加し、会計学の基礎的な理論と現状を学び、会計のさまざまな問題について漠然とではな く論理的に考える力を身につけるよう心掛けていただきたい。			
13. オフィスアワー	授業内で周知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第1回	オリエンテーション／会計の意義	事前学習	教科書を準備し、会計学について考えてくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第2回	会計の役割、会計制度の仕組み	事前学習	教科書の第1～2章を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第3回	複式簿記の仕組み（1）簿記の流れ	事前学習	教科書の第3章第1～4節を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第4回	複式簿記の仕組み（2）決算業務	事前学習	教科書の第3章第5～10節を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第5回	財務諸表	事前学習	教科書の第4章を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第6回	流動資産	事前学習	教科書の第5章を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第7回	固定資産	事前学習	教科書の第6章を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第8回	負債と純資産	事前学習	教科書の第7章を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第9回	収益と費用	事前学習	教科書の第8章を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第10回	キャッシュ・フロー	事前学習	教科書の第9章を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第11回	財務状態	事前学習	教科書の第10章を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第12回	収益性	事前学習	教科書の第11章を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第13回	原価計算、コスト・マネジメント	事前学習	教科書の第12～13章を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第14回	経営管理への役立ち	事前学習	教科書の第14章を読んでくる。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
第15回	総括	事前学習	これまでの授業内容を整理しておく。	
		事後学習	授業内容の確認と自分の考えをまとめる。	
期末試験				